

令和元年度

太田川原野谷川治水水防組合会計  
歳入歳出決算審査意見書

太田川原野谷川治水水防組合監査委員



川 組 監 第 8 号  
令 和 2 年 8 月 20 日

太田川原野谷川治水水防組合

管理者 袋井市長 原 田 英 之 様

太田川原野谷川治水水防組合

監 査 委 員 鈴 木 英 司

監 査 委 員 大 庭 通 嘉

令和元年度 太田川原野谷川治水水防組合会計歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された令和元年度太田川原野谷川治水水防組合会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

# 目 次

	ページ
1 審査の種類	4
2 審査の対象	4
3 審査の着眼点	4
4 審査の主な実施内容	4
5 審査の実施場所及び日程	4
6 審査の結果	4
7 決算の概要	5
(1) 歳 入	5
(2) 歳 出	5
8 実質収支に関する調書	6
9 まとめ	6

## (注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入した。このため、合計額又は差額が一致しない場合及び合計額又は差額を調整したことがある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 3 文中及び表中に用いた符合等の用法は次のとおりである。
  - 「0.0」 …… 該当数字はあるが、表示単位未満を四捨五入した結果のもの
  - 「－」 …… 該当数字のないもの、算出不能又は無意味なもの
  - 「△」 …… 対比又は比較等がマイナスとなったもの
  - 「皆増」 …… 前年度に数値がなく全額増加したもの
  - 「皆減」 …… 本年度に数値がなく全額減少したもの

## 1 審査の種類

決算審査(地方自治法233条第2項)

## 2 審査の対象

令和元年度 太田川原野谷川治水水防組合会計歳入歳出決算

## 3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

## 4 審査の主な実施内容

太田川原野谷川治水水防組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、太田川原野谷川治水水防組合管理者から提出された令和元年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

## 5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市監査委員事務局
- (2) 令和2年7月9日

## 6 審査の結果

審査に付された令和元年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

## 7 決算の概要

### (1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和元年度					平成30年度 収入済額 (D)	増減額 (C)-(D)	前年度 対比 (C)/(D)
	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	執行率 (C)/(A)	構成比			
1 分担金及び 負担金	6,000	6,000	6,000	100.0	96.0	6,000	0	100.0
2 繰越金	198	237	237	119.7	3.8	384	△ 147	61.7
3 諸収入	2	12	12	600.0	0.2	0	12	—
合計	6,200	6,249	6,249	100.8	100	6,384	△ 135	97.9

歳入決算額は、予算現額6,200千円に対し、収入済額6,249千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、100.8%(前年度95.3%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると135千円(2.1%)の減少となり、構成比は、分担金及び負担金が全体の96.0%を占めている。

### 市町別分担金調書

(単位:千円)

区分 市町名	平等割(20%)	面積割(30%)	事業費割(50%)	合計
磐田市	300	364	1,153	1,817
掛川市	300	408	432	1,140
袋井市	300	784	987	2,071
森町	300	244	428	972
合計	1,200	1,800	3,000	6,000

### (2) 歳出

(単位:千円、%)

区分 款	令和元年度						平成30年度 支出済額 (E)	増減額 (B)-(E)	前年度 対比 (B)/(E)
	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (D)	執行率 (B)/(A)	構成比			
1 議会費	326	313	0	13	96.0	5.4	309	4	101.3
2 土木費	5,774	5,494	0	280	95.2	94.6	5,838	△ 344	94.1
3 予備費	100	0	0	100	0.0	0.0	0	0	—
合計	6,200	5,806	0	394	93.6	100	6,146	△ 340	94.5

歳出決算額は、予算現額6,200千円に対し、支出済額5,806千円、不用額394千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、93.6%(前年度91.7%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると340千円(5.5%)の減少となり、構成比は、土木費が全体の94.6%を占めている。

## 8 実質収支に関する調書

令和元年度決算においては、歳入総額6,249千円、歳出総額5,806千円、歳入歳出差引額442千円が実質収支額となっている。

## 9 まとめ

太田川原野谷川治水水防組合は、太田川原野谷川の水防及び河川の改修事業促進に関する事務を共同処理するために設置されたものである。

九州や中部地方を襲った令和2年7月豪雨では、河川の氾濫が相次ぎ、多くの尊い生命と財産が失われた。このような状況下において、河川改修や被害の未然防止対策の必要性はこれまで以上に高まっている。

今後とも、河川整備の促進及び財政面での支援について、国や県に積極的に働きかけるとともに、災害情報の伝達手段の確保や被害の未然防止策の拡充に努められたい。